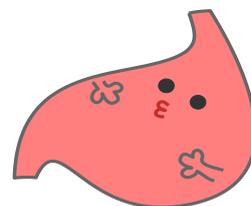


『胃がん検診』は健康診断の中でも、精神的・身体的に負担感が強い検査項目ではないでしょうか。しかし、1年に1度の健康診断で、自分自身の体の変化を確認することは、とても重要です。今回は『胃がん検診』でわかることや、胃がん予防に関する情報を集めてみましたので、参考にしてみてください。

健診でわかるあなたの体シリーズ NO.1



胃の検査の種類

上部消化管X線造影検査

当センター
で実施

食道・胃・十二指腸等を調べる検査です。検査前に飲んだバリウムの流れをX線で見ること、突起やくぼみ等の有無がわかります。集团健診に適しています。

上部消化管内視鏡検査

口や鼻から内視鏡(胃カメラ)を入れ、食道・胃・十二指腸を直接診る検査です。麻酔等も使用し、時間も要します。医療機関等で受けることができます。

ペプシノゲン検査

当センター
で実施

血液中の「ペプシノゲン(たんぱく質の消化酵素のもと)」の量を測定することで、萎縮性胃炎の程度を調べる検査です。採血検査です。

ヘリコバクターピロリ菌検査

当センター
で実施

胃粘膜の委縮や胃がんの発症に関係していると言われている、ピロリ菌感染の有無を調べます。当健診センターでは、採血検査で実施しています。

この検査で 疑われる病気

がん・潰瘍
ポリープなど



この検査で 疑われる病気

がん・炎症
潰瘍・ポリープなど



この検査で 疑われる病気

がん・潰瘍
萎縮性胃炎など



この検査で 疑われる病気

がん・潰瘍など

胃がんとヘリコバクター・ピロリ菌の関係



ピロリ菌が
胃壁に付着

急性
胃炎

長期間で

慢性
胃炎

放置すると...

萎縮性胃炎
胃・十二指腸潰瘍
のリスクがUP!!

4~10倍

胃がんになる
リスクがUP!!

※経口感染等でピロリ菌が胃壁に付き、胃炎を起こし、それが慢性化した場合に、胃の病気のリスクがUPします。

胃潰瘍や十二指腸潰瘍を発症している方の約80~90%がピロリ菌に感染しており、その後、胃がんになるリスクが増えると言われています。胃がんになった方全てが、ピロリ菌に感染しているわけではありませんが、ピロリ菌に感染している場合は、かかりつけの医師に相談しましょう。除菌治療は、医療機関で実施しています。

※裏面では、胃がんを予防するためのポイントをご紹介します。

胃がん予防のポイント！！

減塩

高塩分の食事は、胃粘膜を荒らし、胃粘液の性状を変え、ピロリ菌が棲みやすい環境を作り出してしまいます。
●塩蔵品(漬物、塩辛、塩漬けの魚卵、魚の干物など)を控えましょう!!



新鮮な野菜や果物

新鮮な野菜や果物に含まれている成分が、発がん性物質の代謝にかかわる酵素を活性化させたり、酸化防止作用によって遺伝子に傷ができるのを防いでくれます。
●緑黄色野菜と果物を！
(野菜は1日350g以上)



禁煙

胃がんは元より、多くのがんやがん以外の様々な病気のリスクを高めることが明らかになっています。
●禁煙を!!



ピロリ菌検査

ピロリ菌に感染している場合は、特に、定期的に胃の検査を受け、胃がんの早期発見に努めることが大切です。
●除菌治療については、医師に相談しましょう!!

知って得する

上部消化管X線造影検査(バリウム検査)のあれこれ

- 検査当日の飲食はもちろんですが、直前まで**たばこ**を吸っていたり、**ガム**を噛んでいた場合も受けることができません。⇒胃液がたくさん出て、胃壁にバリウムが付きにくくなるため。
- 授乳中の方は、検査後下剤の服用で、まれに赤ちゃんが**下痢**をしてしまうことがあり、注意が必要です。⇒下剤の成分が母乳を通して赤ちゃんに移行するため
- 検査直前の発泡剤(胃を膨らませるお薬)で、**げっぷ**をしてしまうと、もう一度、発泡剤を飲むことが必要な場合もあります。⇒げっぷが出そうな場合は、少しうつぶき加減になり、我慢しましょう。
- 毎年、所見があり要精密検査になる方は、**上部消化管内視鏡検査(胃カメラ検査)**が必要です。⇒バリウム検査は、一次検査のため詳細な診断名までわかりません。
- 検査後は、必ずしも**真っ白なバリウム便**が出るわけではありません。
⇒検査後すぐは、白い便が出る場合が多いですが、時間の経過と共に、食物の残渣(腸内のカス)と混ざったり、胆汁等様々な消化酵素と混ざって、真っ白ではなくなってきます。
- 普段から**便秘がち**の方は、その旨を問診で予めスタッフに伝えてください。
⇒普段から便秘がちの方は、検査後も注意が必要です。下剤を多めに処方される場合もありますが、程度によっては、バリウム検査をお勧めできないこともあります。

《編集後記》

胃腸の調子が良いので「胃がん検診」を受けるのやめようと思っていませんか？
検診を受けて見つかることの利点は、自覚症状がない早期の段階で、発見できることです。
胃腸の調子が良い時にこそ検診を受けましょう!!

公益財団法人 宇都宮市医療保健事業団 健診センター

〒321-0974 宇都宮市竹林町968 TEL(028)625-2213 FAX(028)625-2215

あなたとあなたの大切な人のために年に1度、健康診断を受けましょう！